

閣議及び閣僚懇談会議事録

開催日時：令和7年1月10日（金） 8：52～9：00

開催場所：総理大臣官邸閣議室

出席者：村上 誠一郎 国務大臣（総務大臣）
鈴木 馨 祐 国務大臣（法務大臣）
岩屋 毅 国務大臣（外務大臣）
あべ 俊 子 国務大臣（文部科学大臣）
福岡 資 麿 国務大臣（厚生労働大臣）
江藤 拓 国務大臣（農林水産大臣）
武藤 容 治 国務大臣（経済産業大臣、内閣府特命担当大臣）
中野 洋 昌 国務大臣（国土交通大臣）
浅尾 慶一郎 国務大臣（環境大臣、内閣府特命担当大臣）
中谷 元 国務大臣（防衛大臣）
林 芳 正 国務大臣（内閣官房長官）
平 将 明 国務大臣（デジタル大臣、内閣府特命担当大臣）
伊藤 忠 彦 国務大臣（復興大臣）
坂井 学 国務大臣（国家公安委員会委員長、内閣府特命担当大臣）
三原じゅん子 国務大臣（内閣府特命担当大臣）
赤澤 亮 正 国務大臣（内閣府特命担当大臣）
城内 実 国務大臣（内閣府特命担当大臣）
伊東 良 孝 国務大臣（内閣府特命担当大臣）
欠席者：石 破 茂 内閣総理大臣
加藤 勝 信 国務大臣（財務大臣、内閣府特命担当大臣）
陪席者：橘 慶一郎 内閣官房副長官
佐藤 文 俊 内閣官房副長官
岩尾 信 行 内閣法制局長官
欠席者：青 木 一 彦 内閣官房副長官

閣議案件：別添案件表のとおり。

○一般案件 4件
○国会提出案件 22件
○政令 4件
○人事 7件
○配布 1件

いずれも、案件表のとおり、決定、了解等となった。

議事内容：

○林国務大臣：ただ今から、閣議を開催いたします。

まず、閣議案件について、橋副長官から御説明申し上げます。

○橋内閣官房副長官：一般案件等について、申し上げます。まず、「ロシア連邦関係者に対する資産凍結等の措置等」について、御了解をお願いいたします。本件につきましては、後程、外務大臣から御発言があります。

次に、信・解任状に認証を仰ぐことについて、御決定をお願いいたします。本件は、「ウルグアイ国」、「セネガル国」及び「ホンジュラス国」駐箚特命全権大使の異動に伴い、交付すべき信任状及び解任状であります。

次に、質問主意書に対する答弁書22件について、お手元の資料のとおり、御決定をお願いいたします。

次に、政令4件について、御決定をお願いいたします。まず、「高齢者の医療の確保に関する法律施行令の一部改正令」は、低所得者に対する保険料の負担を軽減するため、後期高齢者医療の保険料の算定基準を見直すものであります。

次に、「輸出貿易管理令の一部改正令」は、ロシアの産業基盤強化に資する物品に係る輸出禁止措置の対象の追加等を行うものであります。

次に、「再資源化事業等高度化法の一部の施行期日令」は、同法の一部の施行期日を本年2月1日とするものであり、「同法第10条第1項の要件を定める政令」は、同法の施行に伴い、特定産業廃棄物処分業者の要件を定めるものであります。

次に、人事案件について、申し上げます。まず、鈴木法務大臣が、タイ国政府要人との会談等のため、12日から15日まで、岩屋外務大臣が、各国政府要人との会談等のため、13日から16日まで、武藤経済産業大臣が、日本・サウジアラビアビジョン2030閣僚会合出席等のため、明日から16日まで、中谷防衛大臣が、日英防衛相会談等のため、13日から16日まで、それぞれ海外出張されますので、御了解をお願いいたします。

次に、マーシャル国駐箚大使田中一成外6名を願いに依り免ずることについて、御決定をお願いいたします。

次に、特命全権大使清水信介の自由貿易・経済連携協定交渉に参加するための日本政府代表を免ずることについて、御決定をお願いいたします。

次に、国家安全保障局長秋葉剛男を願いに依り免じ、その後任に外務事務次官岡野正敬を任命することについて、御決定をお願いいたします。

次に、外務省及び国土交通省人事といたしまして、お手元に配布しております資料のとおり、承認することについて、御決定をお願いいたします。その主な内容は、外務事務次官岡野正敬の後任に、外務審議官船越健裕を充てるものであります。

次に、裁判官人事といたしまして、判事兼簡易裁判所判事に任命するものについて、御決定をお願いいたします。

次に、片脇清外179名の叙位又は叙勲等について、御決定をお願いいたします。なお、参議院議員足立敏之を、正四位に叙し、瑞宝重光章を授けるものがあります。

次に、配布資料といたしまして、「家計調査報告」があります。本件につきまして

は、後程、総務大臣から御発言があります。

次に、件名外案件について、申し上げます。「政府安全保障能力強化支援に関する書簡」及び「円借款の供与に関する書簡」をインドネシアとの間で交換することについて、御決定をお願いいたします。「政府安全保障能力強化支援に関する書簡」は、インドネシアの安全保障能力強化に係る計画の実施のため、10億円の資金を贈与することについて、「円借款の供与に関する書簡」は、「行政官管理育成強化計画」外1件に総額約905億円を限度とする円借款を供与することについて、それぞれ取り極めるものであります。なお、以上2件につきましては、相手国政府との書簡交換までそれぞれ不公表といたしたいので、御了承をお願いいたします。

○林国務大臣：次に、大臣発言がございます。まず、外務大臣。

○岩屋国務大臣：ロシア連邦によるウクライナ侵略を受け、ウクライナをめぐる問題の解決を目指す国際平和のための国際的な努力に我が国として寄与するため、主要国が講ずることとした措置の内容に沿い、①ロシア連邦の関係者に対する資産凍結等の措置及び輸出等に係る禁止措置、②ロシア連邦及びベラルーシ共和国以外の国・地域の関係者に対する資産凍結等の措置及び輸出等に係る禁止措置、③ロシア連邦の産業基盤強化に資する物品等の輸出等の禁止措置を追加的に実施すること等につき、御了解願います。

○林国務大臣：次に、総務大臣。

○村上国務大臣：本日、家計調査結果を公表いたしました。2人以上の世帯の11月の消費支出は、1年前に比べ実質0.4パーセントの減少となりました。外食などが増加となった一方、白物家電や洋服などが減少となっております。引き続き今後の消費支出の動向を注視してまいります。

○林国務大臣：次に、三原大臣。

○三原国務大臣：昨年、交通事故の発生から24時間以内に亡くなられた方の数は、2,663人と、一昨年より15人減少し、2年ぶりの減少となりました。この結果は、人命尊重の理念に基づき、国を挙げて交通安全対策に取り組んだ成果だと考えております。しかしながら、令和7年までに24時間死者数を2,000人以下とするという目標の達成に向けては、一層の努力が必要と認識しております。交通事故のない社会の実現を目指し、「第11次交通安全基本計画」に基づき、「人優先」の交通安全思想を基本とし、関係機関・団体と連携して、高齢者及び子供の安全確保、歩行者及び自転車の安全確保と遵法意識の向上、生活道路における安全確保等の視点を重視した総合的な交通安全対策を一層強力で推進してまいります。閣僚各位におかれましては、一層の御協力をお願いいたします。

○林国務大臣：次に、国家公安委員会委員長。

○坂井国務大臣：昨年の交通事故による死者数は、2,663人で、前年比15人、0.6パーセント減少いたしました。しかしながら、今もなお多くの尊い命が交通事故で失われております。警察では、第11次交通安全基本計画に基づき、各界各層と連携しながら、こどもや高齢者をはじめとする歩行者の安全の確保、自転車等の交通ルール遵守の徹底、飲酒運転等の悪質・危険な交通違反の取締り等の多角的

な取組を、効果的かつ強力に推進してまいります。閣僚各位におかれましては、より一層の御協力をお願いいたします。

- 林国務大臣：次に、内閣総理大臣臨時代理たる私から、海外出張不在中の臨時代理等について、申し上げます。鈴木大臣、岩屋大臣、武藤大臣及び中谷大臣は、それぞれ海外出張いたしますが、その出張不在中、伊藤忠彦大臣を法務大臣の、内閣官房長官を外務大臣の、赤澤大臣を経済産業大臣の、坂井大臣を防衛大臣の臨時代理とすることといたします。

これ을もちまして、閣議を終了いたします。

引き続き、閣僚懇談会を開催いたします。

なお、海外出張された文部科学大臣の帰朝報告は、お手元の資料のとおりです。御発言はございますか。

無いようですので、以上をもちまして、閣僚懇談会を終了いたします。

閣 議 案 件

(令和 7 年)
(1 月 10 日) (金)

◎ 一 般 案 件

資 料
あ り
資 料
な し

- ロシア連邦関係者に対する資産凍結等の措置等について（了解）（外務・財務・経済産業省）
- ☆ ウルグアイ国駐箚特命全権大使岡田健一外 2 名に交付すべき信任状及び前任特命全権大使浅利秀樹外 2 名の解任状につき認証を仰ぐことについて（決定）（外務省）

◎ 国 会 提 出 案 件

資 料
あ り

- { 1. 参議院議員浜田聡（N党）提出アイヌを先住民民族としたことに関する質問に対する答弁書について（決定）（内閣官房）
- 1. 参議院議員水野素子（立憲）提出防災研究に関する質問に対する答弁書について（決定）（同上）
- 1. 参議院議員浜田聡（N党）提出いわゆるAV新法の二次利用作品への適用関係に関する質問に対する答弁書について（決定）（内閣府本府）
- 1. 参議院議員水野素子（立憲）提出運転免許証の自主返納に関する質問に対する答弁書について（決定）（警察庁）
- 1. 参議院議員齊藤健一郎（N党）提出災害発生時におけるドローンの活用に関する質問に対する答弁書について（決定）（同上）
- 1. 参議院議員浜田聡（N党）提出公益通報者保護法の3号通報における体制整備等義務に関する質問に対する答弁書について（決定）（消費者庁）

1. 参議院議員小西洋之（立憲）提出公職の候補者が他の候補者の選挙運動を行う場合の公職選挙法違反等に関する質問に対する答弁書について（決定）（総務省）
1. 参議院議員牧山ひろえ（立憲）提出DV等被害者支援措置に関する質問に対する答弁書について（決定）（同上）
1. 参議院議員浜田聡（N党）提出内閣府所管のDV交付金の実施計画書を東京都へ開示請求すると実施期間以外が開示となることに関する質問に対する答弁書について（決定）（財務省）
1. 参議院議員水野素子（立憲）提出カリキュラム・オーバーロード問題に関する質問に対する答弁書について（決定）（文部科学省）
1. 参議院議員水野素子（立憲）提出科学研究費助成事業の予算額に関する質問に対する答弁書について（決定）（同上）
1. 参議院議員水野素子（立憲）提出国際卓越研究大学に関する質問に対する答弁書について（決定）（同上）
1. 参議院議員水野素子（立憲）提出理科教育における理科の総合科目導入に関する質問に対する答弁書について（決定）（同上）
1. 参議院議員大椿ゆうこ（立憲）提出医療・介護・福祉におけるディーセント・ワークと行政の指導・監督に関する質問に対する答弁書について（決定）（厚生労働省）
1. 参議院議員塩村あやか（立憲）提出治療用装具に係る療養費に関する質問に対する答弁書について（決定）（同上）
1. 参議院議員齊藤健一郎（N党）提出脱衣所・浴室で冬場に多く発生する事故に関する質問に対する答弁書について（決定）（同上）

1. 参議院議員浜田聡（N党）提出国産米の国際競争力に関する質問に対する答弁書について（決定）（農林水産省）
1. 参議院議員浜田聡（N党）提出セーフティネット保証4号及び5号による事業者支援に関する質問に対する答弁書について（決定）（経済産業省）
1. 参議院議員水野素子（立憲）提出適切な価格転嫁に関する質問に対する答弁書について（決定）（同上）
1. 参議院議員山本太郎（れ新）提出「原子力災害対策指針」の一部改正に関する質問に対する答弁書について（決定）（原子力規制委員会）
1. 参議院議員牧山ひろえ（立憲）提出PFAS漏洩に係る日本政府と在日米軍の対応に関する質問に対する答弁書について（決定）（防衛省）
1. 参議院議員牧山ひろえ（立憲）提出PFAS漏洩に係る米軍横田基地への立入調査に関する質問に対する答弁書について（決定）（同上）

◎政 令

- 資料あり
- 高齢者の医療の確保に関する法律施行令の一部を改正する政令（決定）（厚生労働省）
 - 〃 ○輸出貿易管理令の一部を改正する政令（決定）（経済産業省）
 - 〃 ○資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する法律の一部の施行期日を定める政令（決定）（環境省）
 - 〃 ○資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する法律第10条第1項の要件を定める政令（決定）（同上）

◎人 事

- 資料あり ☆法務大臣鈴木馨祐外3名の海外出張について
（了解）
- 資料あり ○特命全権大使田中一成外6名を願に依り免ずること
について（決定）
- 〃 ☆特命全権大使清水信介の自由貿易・経済連携協定
交渉に参加するための日本政府代表を免ずること
について（決定）
- 〃 ○岡野正敬を国家安全保障局長に任命し、国家安全
保障局長秋葉剛男を願に依り免ずることについて
（決定）
- 〃 ○各府省幹部職員の任免につき、内閣の承認を得る
ことについて（決定）
- 資料あり ☆大久保紘季外73名を判事兼簡易裁判所判事に任
命することについて（決定）
- 資料あり ☆元建設技官片脇清外179名の叙位又は叙勲等
について（決定）

◎配 布

☆家計調査報告 (総務省)

[○署名あり ☆署名なし]

件名外案件

〔令和7年〕
1月10日 (金)

◎一般案件

- 資料なし
- インドネシア共和国政府に対する政府安全保障能力強化支援に関する日本国政府とインドネシア共和国政府との間の書簡の交換について (決定)
(外務省)
 - 〳 ○円借款の供与に関する日本国政府とインドネシア共和国政府との間の2の書簡の交換について
(決定) (同上)

[○署名あり ☆署名なし]